定期接種

HPV（子宮頸がん予防）ワクチン

注射（不活化ワクチン・9価）

子宮頸がんの主な原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぎます。

対象年齢・回数・間隔

対象	小学6年生〜高校1年生相当の女子（無料） おすすめは中学1年生
回数	1回目が**15歳になる前**：2回（1回目から6か月あけて） 1回目が**15歳以上**：3回（2か月後と6か月後）
ご注意	全部終えるのに約6か月かかります。高校1年生相当で未接種の方は早めにご相談ください。

副反応と接種後の注意

- 接種した場所の痛み・腫れ・赤みがよくみられます。
- 注射の痛みや緊張から、**気を失う**ことがあります。
- 接種後**15〜30分**は、体調に変化がないか確認するため、**院内で座って**お待ちいただきます（気を失って転ぶのを防ぐため）。
- 当日の入浴はできます。接種した場所はこすらないでください。
- 当日は激しい運動は控えてください。

原則、保護者の付き添いが必要です（13歳以上で、保護者が予診票と同意書に署名した場合は付き添いなしで受けられます）。

すぐ受診・連絡してほしいとき：高い熱が続く、けいれん、ぐったりしている、顔色が悪い、じんましん・息苦しさ、接種した部位が大きく腫れて痛がる など

持ち物・当日の注意

- **母子健康手帳**
- **横浜市の予診票**（市から届いたもの。事前に記入してください）
- 住所・氏名・生年月日が分かるもの（小児医療証、マイナンバーカードなど）
- 保護者が付き添えない場合は**委任状**（原則、保護者の付き添いが必要です）
- 朝、おうちで**体温を測って**きてください。37.5℃以上の場合は接種できません。
- 体調が悪いとき、最近かぜや感染症にかかったときは、ご来院前にお電話でご相談ください。

がんばったね！

注射をがんばったお子さまを、たくさんほめてあげてください。
「よくがんばったね」のひと言が、次の接種の勇気になります。

© 2026 くつまこどもクリニック　TEL 045-901-0011　2026年11月改訂　無断転載・複製を禁じます